

“自ら困難を乗り越えていく力”を部下に持って欲しい管理職・チームリーダーの方へ

# アドラー心理学を活かした

## “やり抜く部下”の育成術

オンライン受講  
(Zoom)



と き 2022年 8月 18日 (木) <1日研修 10:00~17:00>

開催形式 オンライン (Zoom)

ご参加  
いただきたい方

### ● 管理職・チームリーダーの方

※特に・困難に対し、自力で乗り越えていける部下を育成したい方

- 部下が「自分の頭で考えて、行動できる」ようになる上司の関わり方を身につけたい方
- 今実践している部下指導で、まだまだ部下が十分に育っておらず課題を感じている方

### 今、部下育成で大きな注目を集めるアドラー心理学による“勇気づけ”のマネジメント。リーダー必学の分野!

部下育成で悩みが尽きない管理職やチームリーダーが増えています。

アドラー心理学における部下育成は、「指示命令」や「指導」といった“上意下達”の昭和～平成中期の従来型コミュニケーションではなく、部下の個性や人間性を尊重して、勇気づけをする「伴走感のある支援」によって、部下が自力で困難を克服できる「活力」を与えるものです。人は勇気づけられると自己肯定感が増し、強い自立(律)心を持って、独力で問題解決に向けて自ずと突き進んでいけるようになります。

### ◆「直近」と「中長期」の成果創造を、トレードオフではなく両立させることができる!

アドラー心理学には対人関係をより良くする考え方や方法論が凝縮されています。

加えて、「目の前の成果(業績)」と「中長期的な成果(業績)」を両立させる部下育成やマネジメントにも有効であり、昨今多くの企業において管理職やチームリーダーへの教育に導入されています。

そこで、本研修では、

- 「ほめる・叱る・教える」で成長しなかった部下を着実に成長させていく方法
- 部下自らが強い責任感と当事者意識を持って困難に立ち向かえるようになる上司からの関わり方
- 部下自らが強みを発見して自信に変えていくための上司からのサポートのしかた
- 部下が自力で難局を乗り越えて“やり抜く経験”をする上司からのサポートのしかた

以上を、実践理論と演習によってしっかり腹に落とし込みます。

現在、管理職やチームリーダーの方で、

- これまで自分が実践・確立してきた部下育成への自信が揺らぎ始めている方
- 部下の自己肯定感や自立(律)心を高めることができる「確かな育成力」を身につけたい方
- 部下を成長させる「効果的で良質な関わり方」を身につけたい方
- 部下との良好な関係づくりに悩んでいる方
- 部下やイマドキの若者への教育・育成がうまくいかないと悩んでいる方

など、部下育成に何かしらの課題を抱える管理職やチームリーダーが本研修に参加することによって、「部下が自ら困難を乗り越えて最後までやり抜けるようになる支援術」を身につけることができます。

受講後には、固着していた部下育成に対する考え方が刷新され、悩みが大きく軽減されることに間違いありません。管理職やチームリーダーの方はぜひこの機会を有効活用していただければ幸いです。

# アドラー心理学を活かした“やり抜く部下”の育成術

講師

## 中産連パートナー講師（組織人事コンサルタント、心理カウンセラー・セラピスト、エグゼクティブコーチ）

大学卒業後、リクルートにて管理職。コンサルティング会社の代表取締役。コンサルタントとして大企業の中間管理職。公開前後のベンチャー企業役員。中小企業のオーナー社長とあらゆる立場で組織変革を実現させる。その後独立し、講師・コンサルタントとして活動を開始。「経営やマネジメント経験の視点×エグゼクティブコーチの視点×心理カウンセラーの視点」を織り交ぜた「アドラー心理学による部下育成」、「1on1ミーティングの進め方」、「ブレイン・マネージャー育成」、「任せる技術」などマネジメントや部下育成に関する著作を30冊以上上梓している。特に、アドラー心理学においては国内でも数少ない専門家の一人であり、アドラーの理論をマネジメントや人材育成に援用した研修は、ビジネスシーンに即したもので実践的と評価が高い。また、経営に心理学を取り入れた数少ない専門家の一人として、企業や官公庁などに研修・講演・コンサルティングを精力的に行っている。

### ◆ 研修プログラム

#### 1. アイスブレイキング

- ・ 研修の趣旨と目的

#### 2. アドラー心理学とは

- (1) アドラー心理学の概要
- (2) なぜ今部下育成でアドラー心理学なのか

#### 3. アドラー心理学の目的

- (1) 原因論と目的論で大きな差が出るその後の行動
- (2) 医療モデルによる比較

#### 4. やり抜く部下を育てる「アドラー心理学の勇気」演習

- (1) アドラー心理学における勇気の意味
- (2) 勇気がある人と勇気がない人で大きな差が出るその後の行動

#### 5. やり抜く部下育成の基盤になる「教育的枠組み」演習

- (1) 教育的枠組みとは
- (2) 枠組みがないと教育は機能しない
- (3) 競合的態度では問題は解決できない
- (4) 人が変化する時はどんな時?

#### 6. やり抜く部下を育てるアドラー心理学の「勇気づけ法」演習

- (1) リフレーミングを活用した勇気づけ
- (2) 正の注目と負の注目の違いに注意する
- (3) 勇気は伝染する

#### 7. アクションプラン設定 ~今日から何を始めますか?~

## アドラー心理学を活かした“やり抜く部下”の育成術 (8/18) 参加要項/参加申込書

参加費 (1名様)	セミナー受講のみ	中産連会員 33,000円(消費税込)	中産連会員外 38,500円(消費税込)	※フォローアップのラーニングコーチが研修での学びと実務を ひもづけ、マインドと行動の変容を後押しします。
	フォローアップ(事後行動支援)※付き	38,500円(消費税込)	44,000円(消費税込)	
申込方法	●中産連ホームページの各セミナー詳細よりお申込みください。(https://www.chusanren.or.jp) 申込みが完了しますと、申込責任者のメールアドレスに「申込完了メール」が届きます。 ●FAXでのお申込みも可能です。下記申込書に必要事項を記入の上、切り取らずに送信してください。 ●フォローアップ(事後行動支援)を希望される方は下記申込書の欄に「シ」を入れてください。 ※コンサルタント及び教育機関の方のお申し込みはお断りしております。ご了承ください。			
受講までの流れ	① 開催日の約1週間前になりましたら、申込責任者宛に「参加用URL」「ミーティングID」「パスワード」をメールにてご案内します。 ② 「テキスト」と「請求書」は開催日の約1週間前に申込責任者へ郵送します。 【オンライン受講の注意事項】 ・配信システムはZoomを使用します。Zoomがインストールできるカメラ付きパソコンをご用意ください。また、イヤホン付きマイクのご使用を推奨します。 ・接続が切れないよう有線のLAN環境での受講を推奨します。また、接続先環境に起因する音声・映像障害などについては保証しかねますのでご了承ください。 ・IDを共有してのご利用や、画面を投影してのご利用など、参加者ご本人以外のご利用はお断りします。 ・研修の撮影・録音は固くお断りします。			
キャンセルについて	お客様のご都合によりキャンセルされる場合には、以下のキャンセル料を申し受けれます。 テキスト発送後(開催日の約1週間前)……受講料の100% ※テキスト発送日はセミナーにより異なりますので下記担当者へご確認ください。			
申込み・問合せ先	一般社団法人中部産業連盟 マネジメント研修事業部 小橋川 〒461-8580 名古屋市中区東区白壁3-12-13 TEL052-931-9824 FAX0120-342-340 e-mail: kohashikawa@chusanren.or.jp			

会社名 \_\_\_\_\_ 年 月 日

〒 \_\_\_\_\_

所在地 \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

フォローアップ(事後行動支援)を希望(シ)	参加者 所属部課・役職名	参加者氏名(フリガナ)	年齢	E-mail アドレス
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				

申込責任者 所属部課・役職名	申込責任者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス

会社概要	業種(主要製品名)	資本金	従業員数	今回ご記入いただく個人情報は、セミナー等の運営・情報提供(郵便、メール、FAX等)においてのみ使用致します。 詳細は当連盟HP(http://www.chusanren.or.jp/privacy/index.html)をご覧ください。同意のうえ、ご協力をお願い致します。関連情報が不要の場合には下記にシ点のご記入をお願い致します。
	百万円 人	会員 ・ 会員外	<input type="checkbox"/> セミナーなどの関連情報の案内を希望しない	
中部産業連盟会員(○印をお付けください)				



FAX 0120-342-340

マネジメント研修事業部 小橋川 行 ★